

【大分県】土地改良を契機とした農村地域の振興事例集

市町村	地区名等	タイトル	頁	発行月	Vol.
竹田市	荻	畑地かんがいによる「赤採りトマト」の産地ブランド化	1	H28.12	2
大分市	上詰	農作業の効率化と夢をもった加工・販売への挑戦	2	H29.08	3
豊後大野市	三重東部	高糖度かんしょ等の生産拡大と女性パワーを活かした加工の取組	3	H31.03	5
宇佐市	宇佐	基盤整備を契機とした低コスト化水田農業の実践	4	R4.03	8
佐伯市	米水津	企業との連携による園芸産地拡大に向けた基盤整備の取組	5	H6.03	10

【工夫のポイント】

- かんがい水を利用した施設栽培を行い、品質が高いトマトを安定的に生産。
- 県内における産地リレー体制の構築や大手量販店との契約栽培などにより「赤採りトマト」の産地ブランド化を実現。
- トレーニングファームを設置、新規就農者を中心に担い手を育成。

基盤

畑地かんがいによる労力軽減と品質・収量の安定

畑地かんがい水を利用した施設栽培では、給水栓に散水制御装置や液肥混入器を接続することで、水量の自動調節や施肥の効率化を実現。営農労力を軽減するとともに、品質の高い高冷地野菜を安定的に生産することが可能となった。



散水制御装置により自動点滴かんがいが可能となった

【整備前】

農家は、用水の不足に悩まされており、ハウス横に天水を貯めて利用するなど、水管理に多大な労力を要していた。また、農産物の品質や収量が不安定であった。



農家手作りの天水用の貯水槽

基盤整備 (H12年～)

【取組地域の概要】

- 位置 たけたし
大分県竹田市 (過疎地域)



- 主要作物
・夏秋トマト、高冷地野菜

- 主な支援施策
・国営大野川上流土地改良事業(S54～H31)
・県営畑地帯総合土地改良事業(S53～H12)
・県営中山間地域総合整備事業(H12～H28)
・農業競争力強化基盤整備事業(H27～H32)
・戦略的産地振興支援事業(H21)

生産現場

完熟した状態でトマトを収穫



- トマトを赤く色付いてから収穫することで、うまみ成分のグルタミン酸が多く含まれるトマトを出荷。
- 品種選定や収穫後の温度管理等を工夫し、収穫後の日持ちの課題を解決。

加工・流通

産地リレー体制の構築や大手量販店との契約栽培



- 県内他地域とも連携した周年出荷体制を構築。大分県ブランド「赤採りトマト」の産地として確立。
- 大手量販店との契約栽培により、安定した販路を確保。

担い手

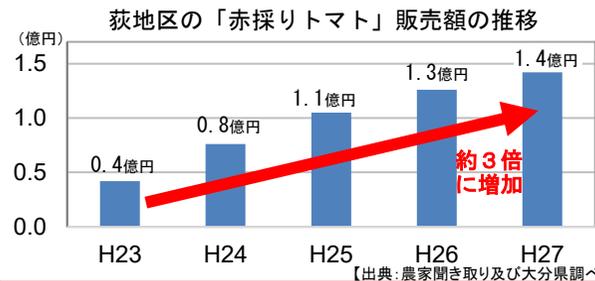
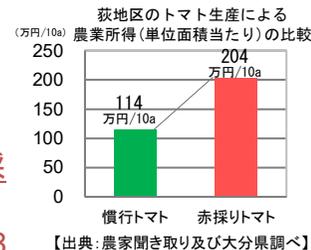
トマト学校を設立して新規就農者を支援



- 戦略的産地振興支援事業で整備したモデル園場を核に「とまと学校(トレーニングファーム)」を設置し、新規就農者を中心に担い手を育成。
(平成22～27年度で11人を支援)

大分県ブランド「赤採りトマト」の産地として確立、販売額の増加

- 畑地かんがい水を利用した施設栽培により、高品質なトマトの安定生産が可能となった。
- 荻地区における「赤採りトマト」の生産は拡大。販売額は直近5年で約3倍に増加しており、当該地区は「赤採りトマト」の有力な産地となっている。



地域概要

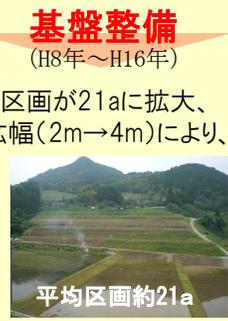


【主要作物】
・米、小麦、だいこん、たまねぎ、白菜、キャベツ、ブロッコリー
【主な基盤整備】
・県営経営体育成基盤整備事業 (H8～H16)

ほ場整備事業による農作業の効率化

【整備前】
山間に狭小なほ場が点在し、農道も狭く、機械が入らないほ場も多くあり、水稻栽培では、田植え作業や漏水防止のための畦塗りを手作業で行うなど、重労働となっていた。

【整備後】
○ 区画整理により、平均区画が21aに拡大、また、農道の新設及び拡幅(2m→4m)により、大型機械のほ場への乗り入れが可能となり、**効率的な営農が実現**。
○ 集落営農法人「上詰アグリドリーム」を設立。



基盤整備 (H8年～H16年)

女性たちの声



M. Kさん(左)
M. Wさん(中)
M. Kさん(右)



T. Aさん(左)
K. Kさん(右)

「農産加工所どりーむ」を設立した地区内の女性

VOICE

畦塗りや田植えといった手作業が少なくなりました！

- 整備前は、機械が入らないほ場が多くあり、手作業での作業も多かった。**田植や畦塗り、畦畔の草刈りなどの手作業で行うもののほとんどは女性が担っており、大変な重労働**でした。
- ほ場整備後は、水稻の田植えや畦塗りを機械を使って行えるようになり、**私たちが担う作業が大幅に削減**されました。また、センチピードグラスによる畦畔緑化に取り組み、草刈り作業を大幅に短縮(5～6回→2回)できました。
- 年1回の研修も行うことができるようになり、**楽しみの一つ**となっています。

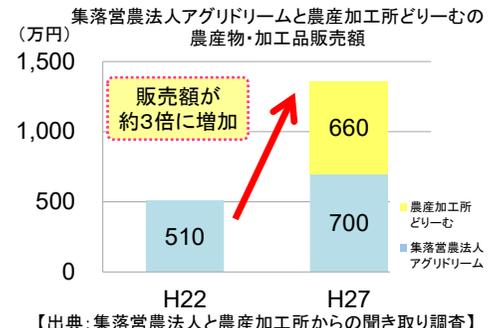
私たちのチャレンジ

地元産材料を使った6次産業化により地域の農産物・加工品の販売額が大幅に増加

- 集落営農法人の経営拡大及び農産加工販売の新たな取組により、**地域内での雇用の創出や、農産物・加工品の販売額の増加**など地域振興に大きく貢献している。



大型スーパーでの対面販売



創出された時間を農産物の加工・販売等に活用



- 経営の更なる発展に向けて、先進地である法人の事例調査を実施しています。

【農産加工所の開設】

- **地区内の女性(5名)で、「農産加工所どりーむ」を設立**(H22)し、地域でつくったモチ米や小麦、野菜等でまんじゅうや漬け物、あられ等を**加工・販売**しています。
- 加工所が栽培する畑の耕起等を集落営農法人に委託するとともに、加工に使用するモチ米等を法人から購入しています。加工所から法人の農作業に対して**労務提供**を行うなど、**2つの組織が連携しながら地域農業を支えています**。

【工夫のポイント】

- 地区内すべての水田に地下水位制御システムを導入し、**かんしょ、スイートコーン等の高収益作物生産の作付拡大**により収益を大幅な増加。
- **法人女性部の活動**による新たな加工品の積極的な製造・販売により、**6次産業化による労力活用と収益増加**を実現。

基盤

水田の排水性の改善と区画拡大を実施

区画拡大や地下水位制御システム(FOEAS)の施工により、水田の排水性が大きく向上するとともに、大型機械の導入が可能となった。

基盤整備
(H27年～H31年)

【整備前】

ほ場が狭小かつ排水不良であったため、不安定な農業経営を余儀なくされていた。



【取組地域の概要】

- 位置 ぶんごおおのし 大分県豊後大野市 (過疎地域)

みえとうぶ 三重東部地区

大分県

- 主要作物
 - ・水稻、麦、大豆、かんしょ、スイートコーン
- 主な支援施策
 - ・県営ほ場整備事業(S55～H3)
 - ・農業競争力強化基盤整備事業 (H27～H31)

生産現場

水田の汎用化による高収益作物の生産増加

- 地区内の主たる担い手の農事組合法人(以下、A社)では、水田の汎用化により、高糖度かんしょやスイートコーン等の高収益作物の作付面積が大きく拡大。



地域の取組

法人による新たな雇用創出 (A社の取組)

- A社は女性を25名雇用するなど、女性活躍の場を創出。また、新卒で5名を雇用するなど、積極的に若手を起用。(うち県立農大出身3名)



加工・流通

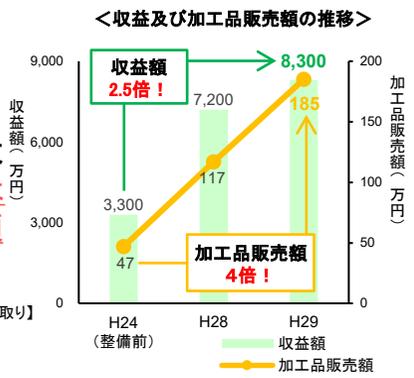
農事組合法人の女性部による加工品の生産

- A社の「姫の会(女性12名)」が、焼き芋・ペースト等の新たな加工品を製作・販売。

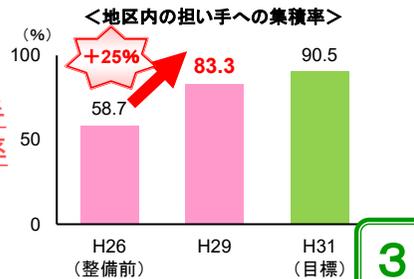


地域の担い手である農事組合法人の経営の多角化と規模拡大・雇用創出(A社の例)

- 高収益作物の作付と高糖度かんしょの加工品製造販売の拡大により、収益および加工品販売額が大幅に増加。



- 農地中間管理機構を通じた地区全体の担い手への農地集積率は年々増加。



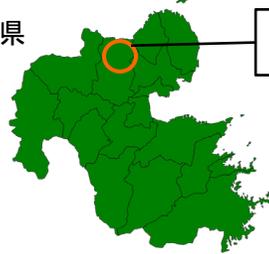
【対策のポイント】

- 小規模ほ場(平均区画0.2ha)を**大区画ほ場(平均区画2ha)**に整備。
- 農地中間管理事業を活用した担い手への**農地集積・集約**。
- 地下水水位制御システム(FOEAS)、水田汎用化による**大豆の安定生産**。
- **スマート農業を積極的に推進**し、更なる生産コストの低減の実現を図る。

【取組地域の概要】

○位置
うさし
大分県宇佐市

大分県
うさし
宇佐地区

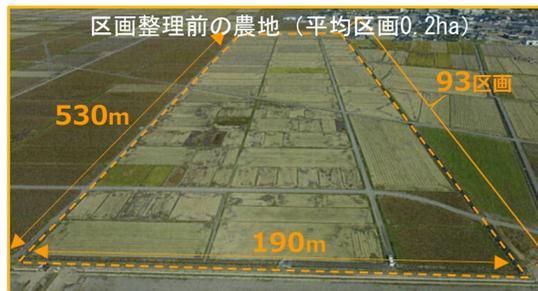


- 事業名
農業競争力強化農地整備事業(H26~R2)
- 主要作物
コメ、麦類、大豆
- 受益面積 51ha
- 主要工事
区画整理:51ha、用水路(パイプライン):4.6km、地下水水位制御システム(フォアス):51ha、

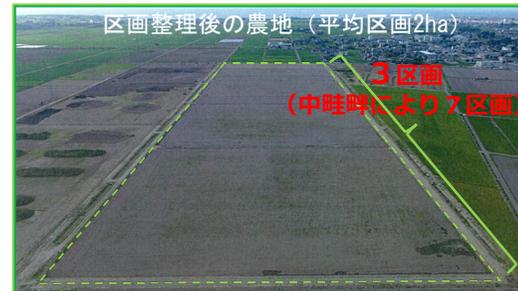
基盤

農地の大区画化と維持管理労力の軽減

の範囲は事業区域51haの一部約10ha



基盤整備
(H26~R2)



- 区画整理により平均区画2haの**大区画化**。
- FOEASの導入による**水田の汎用化**。

経営体の集約

- 事業を契機として、個別経営から、**2つの組織経営体と2人の認定農業者**に集約され、営農の効率化が実現。

事業着手前

現在



担い手への集積・集約化の状況

24.7ha(48%) **集積** 39.8ha(78%)
15.6ha(30%) **集約** 38.0ha(74%)

地域の取組

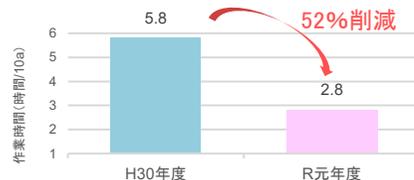
米の生産コストの削減

- 認定農業者(S氏)は、**大区画化及びFOEASの導入により、生産コストの削減を実現**。
- ICT(直進アシスト等)を活用した**スマート農業の積極的な導入**や、水稲栽培の**乾田直播への完全移行**により、水稲生産の省力化等に取り組み、目標とする**9,600円/60kg以下を達成**。

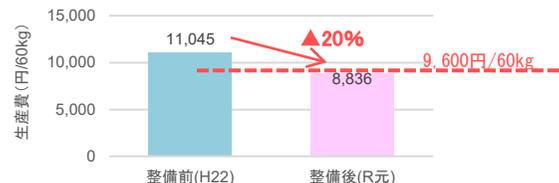
S氏の主食用米生産にかかる作業時間と米の生産コスト削減効果

○主食用米10a当たり作業時間調査結果

※加工用米を含む



○主食用米60kg当たり生産コスト



【工夫のポイント】

- 基盤整備により、荒廃化が進む樹園地を**レモン団地**に整備。
- **スピードスプレーヤ**や**運搬車両**の**園内作業道**を確保することで**省力化**を実現。
- **香料製造企業が農業参入し、レモンの果汁・精油**を国内外へ販売。
- **菓子製造販売企業が農業参入し、市内でドライフルーツ用レモンの生産を開始**するなど、周辺地域へ波及。

【取組地域の概要】

○位置 さいきし
大分県佐伯市

大分県



○主要作物
・レモン

○主な支援施策
・農地中間管理機構関連
農地整備事業 (R1~R4)

園芸産地の拡大に向けた大区画化・水路のパイプライン化

基盤整備

- 区画整理により最大区画1.9haの農地へ**大区画化**。
- **農業用水路のパイプライン化**により、**用水の安定供給と、水管理作業の省力化**を実現。
- **獣害防止柵の設置**により**獣害被害を防止**。



基盤整備後、植栽が進む農地 (平均区画0.6ha)



植栽状況 (R3)

収穫状況 (R5)

【整備前】

農地は狭小で、大型機械の利用が困難。また、**シカによる獣害被害**などが要因となり、**耕作放棄地の増加**が進行。



整備前の農地 (平均区画0.1ha)

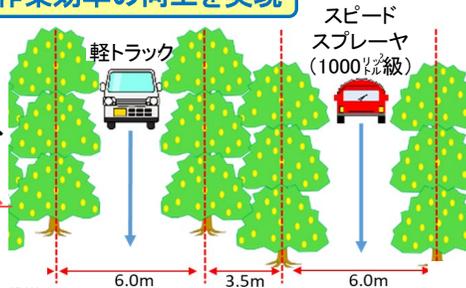
基盤整備

(R1年~R4年)

生産現場

大区画化により省力化・作業効率の向上を実現

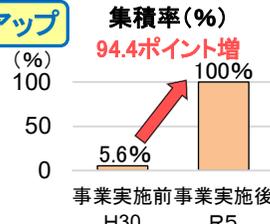
- 農地の大区画化により、園内作業道スペースの確保が可能となり、**スピードスプレーヤ**や**運搬車両**の利用による、**省力化・作業効率の向上**を実現。



担い手

農地バンクの活用により集積率が大幅アップ

- 国内外で事業を展開する**香料製造企業が担い手として農業参入**。
- 農地バンクを活用し、担い手への農地集積率を大幅に向上。地区内農地の**100%**を担い手に集積。



加工・流通

参入企業による生産・加工・流通

- 生産したレモンは、青果での販売、及び搾汁・搾油し、**果汁・精油**として**国内外に販売**。



精油

園芸産地の拡大

- 本地区への香料製造企業の農業参入に続き、**菓子製造販売企業がドライフルーツ用レモン生産**のため、佐伯市内において**農業参入**。
- 香料製造企業は、**更なる経営規模拡大を計画**しており、今後も**生産面積の拡大**が見込まれる。

地域における参入企業のレモン栽培面積 (ha)

